

令和2年度学校評価結果報告書

桶川市立桶川西中学校
校長 相澤 仁志

1 目指す学校像 「きれいな環境の中で豊かな心と豊かな学びがある学校」

2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価 または 学校運営協議会における評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	(7) 4	連絡会等を通じ「情報を共有」し、共通理解の基に生徒の理解と指導に全職員で当たっている。	A 81%	生徒指導委員会を放課後に行ってきた。校務パソコンに入力した事柄を事前に読み時間を有効に使い、情報の共有を行った。日々、学年を超えて共通理解を行い、規範意識の向上と生徒指導に全職員で取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化や全職員の共通理解のもと、指導の充実に向かっていることがわかりました。 全職員がチームとして、学校運営に協力的であると思います。
	(6) 4	保護者や外部の評価を実施し、取組の充実改善を図っている。	B 79%	学校評価を計画的に行い、自己評価、保護者アンケートをもとに分掌会議を実施した。保護者からの評価を、誠実に受け止め、学校運営に生かしたい。	
学習指導	(1) 1	生徒の学ぶ意欲を喚起するよう、わかる授業を行うようにしている。	B 76%	主体的対話的で深い学び実現に向け、コロナ禍の中、ICTや映像、課題の提示の方法を工夫し、生徒の興味関心を引き出す授業展開をした。授業の目標や見通し、まとめの活動を明確にしたり、意見の発表や思いを発表する活動を多く設定し、学力の向上を目指した。	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい授業がなされました。 ユーチューブの活用など新しい形態のメディアを積極的に利用していることは評価できる。今後はチャンネル登録者を増やすことや動画を豊富にしていくことが課題である。 「学力向上のためにテスト前、及び休業日の補習を実施している。」については、把握する機会がありませんでした。
	(1) 7	学力向上のためにテスト前、及び休業日の補習を実施している。	B 74%	夏季休業中や、定期テスト前に、5教科を中心に質問日及び補習を行った。その際に家庭学習の習慣化のため、具体的な勉強の仕方を指導することも考えて行きたい。また、毎日2ページ自主学習ノートの提出を実施し、家庭との連携を図っている。	
生徒指導・教育相	(7) 2	生徒の観察等を通じて不登校や問題行動、いじめ防止・早期発見に努めている。	A 87%	教育相談部会を毎週実施し。日々、学年を超えた情報共有を心がけ、生徒の些細な変化にも気を配り、不登校や問題行動、いじめ等の早期発見と適切な対応に努めた。スクールカウンセラー、相談員と報告連絡相談を徹底し学校全体で対応してきた。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生徒に丁寧に対応している。 生徒に興味関心をひきだす授業を通じ、良い状況ではないかと思えます。
	(7)	地域や家庭との		コロナ禍の中、三者面談や家庭訪問、	

談	5	連携・協力を努め 生徒の健全育成を 推進している。	A 84%	朝の電話連絡など担任や学年主任など学 年を中心に家庭との連絡を密にしてき た。また、学校応援団の活動を生かし、 生徒の健全育成を目指した。	
健康 教育	(3) 2	健康教育の充実 を図るため年間計 画に沿って指導し ている。	A 81%	日々の健康観察、定期健康診断等、健 康についての意識を高めた。今年度は、 コロナ禍の中、手洗い、マスクの着用、 ソーシャルディスタンスの呼びかけ、昇 降口の掲示物の作製など保健委員会の活 動を活発化して、健康教育の充実を推進 した。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中においても、でき る範囲で活動を継続させている のは生徒にとってとてもよいこ とである。 ・コロナ禍で、把握する機会があ りませんでした。
	(3) 3	食に関する指導 を推進し、給食指 導を充実させてい る。	A 85%	コロナ禍の中、季節の野菜や栄養に関 する掲示物を通して、食に関する生徒の 意識を高めることができた。放送による 給食に関する啓発活動を実施して給食委 員会の活動を活発化した。	
学習 環境	(5) 1	きれいな学校を 目指し「清掃活動」 「ボランティア活 動」の向上に取り 組んでいる。	A 89%	生徒を主体として、全教職員も毎日の 校内美化、清掃活動に勤しんだ。環境委 員会による学校周囲のクリーン活動を実 施した。毎回100名程度の参加があり、 生徒自ら進んでの参加が増えた。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内を見学させていただき、乱 れは感じなかった。 ・県内の中高の学生の活躍してい る新聞の掲示物など、生徒が興 味、関心をひく掲示ができてい る。 ・コロナ禍で対外的な活動が実施 しづらい中ではあるが、生徒自 身が地域で貢献している姿を見 られるような活動を期待してい ます。
	(5) 3	きれいな掲示・ 展示で心豊かな教 室環境、学校環境 づくりを行っている。	A 89%	廊下等に生徒の作品や総合的な学習の 制作物の掲示、教室には特活や行事の取 組等を掲示し活動や学習の様子が互い に見える展示をした。学びへの興味関心 を深める為新聞記事の掲示なども行っ た。	
教職 員の 資質 向上	(1) 2	学習形態や指導 法の工夫と改善を 行っている。	A 83%	新学習指導要領の実施に向け、コロナ 禍の中、グループ活動や効果的な課題の 提示を研究して授業改善を進めた。今 後も教職員一丸となって研修に励む。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援室とさわやか相談室を 生かした教育相談体制があると ころがよい。 ・コロナ禍ではあるが、主体的、 対話的で深い学びを通じ、学び の姿勢を指導していただきたい。
	(7) 1	生徒とのふれあ いや教育相談の充 実で、生徒理解に 努めている。	A 89%	定期的な教育相談委員会や生徒指導委 員会を開催しつつ、生徒とのふれあいを 大切にし、教育相談の充実を図った。学 年を超えて協働し、生徒理解に努め、教 職員の資質向上に努めた。	
家庭 ・ 地域	(6) 1	学校便り、学年 通信、学級通信を 発行し理解や信頼 が得られるように している。	A 92%	学校だよりや学年通信を毎月発行し、 学校の活動や学年、学級の様子を地域や 家庭へ発信することに努めた。HPは情 報の更新を随時行い、家庭・地域の理解 を得られるようにした。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより等を通して学校や担 任の方針や考え方が理解できま す。 ・「積極的に学校公開、授業公開を 行い理解と信頼を得られるよう にしている」については本年度

と の 連 携	(6) 5	積極的に学校公開、授業公開を行い理解と信頼を得るようしている。	A 88%	1年間を通して学校公開・授業公開を行ってきた。コロナ禍の中、体育祭、音楽会、様々な行事等をHPや学校だより等を通じ発信し、保護者にご協力頂き、地域の理解と信頼を得るよう心がけた。	は仕方ないと考えます。オンラインでの公開などICTの活用を期待しています。
------------------	----------	---------------------------------	----------	---	---------------------------------------

*自己評価については、12月に全教職員で行いました。

*評価については、A…8割以上（4段階評価平均3.2以上）、B…6割以上（4段階平均2.4以上）で評価をしました。それ以下はCとなります。